

# Gun

銃・射撃の専門誌



**6** June 1997

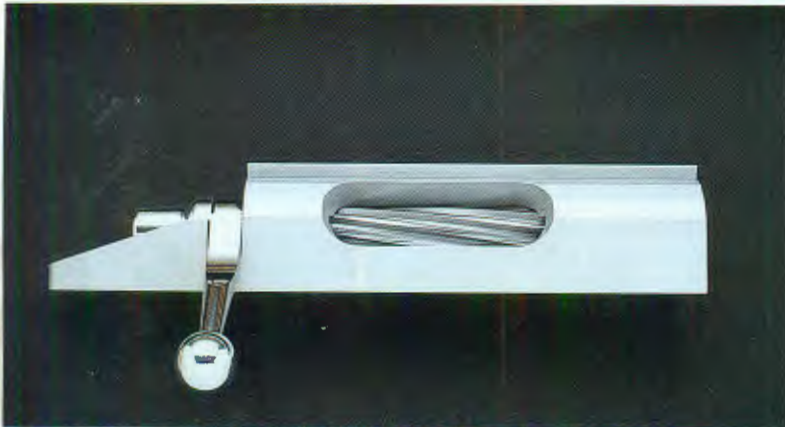
# Rifleman's

## ライフルマンズ・コーナー

# Corner

by/Turk Takano

### カスタム・ライフル・アクション ストール・パンダ



▲パンダ・アクション、ボルト・ハンドルも先端を含めアルミ・アーロイとなっている。

今回から数回にわけて米国製のトップ・クラス競技用カスタム・アクションを紹介したい。この10年、米国内ベンチレスト・ライフル射撃競技でもっとも人気のあるライフル・アクションはストール・シリーズの“パンダ”アクションである。全米選手権を含めた大きな選手権でのトップ20の60%がこのパンダで占められている。そしてまたシルエット、ハイパワー・ライフル競技の分野にも食い込みははじめた。

ストール・シリーズのアクションの特長はアルミ・アーロイのレシーバーにスチールのインサートをはめ込み軽量化を図ったこと、そして高い工作精度であろう。

まずストール・シリーズ・アクションの簡単な歴史を述べてみよう。ストール・アクションのデザイナーは既に故人となったRalph Stolle (ラルフ・ストール)である。彼が初めてこれまでの常識を破ったアルミ・アーロイのStolle actionを製作したのは1971年のことだった。この当時、アルミ・アーロイをレシーバーに使用したデザイナーはもう一人存在した。既に故人となったテキサスのチャーリー・ウィリアムスである。

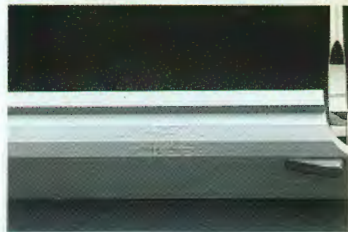
ウィリアムス・アクションはボルト・ボディまでアルミ・アーロイを使用するなど軽量化をStolleより更に進めたものだった。しかし総合的にみた場合、いくつかの

問題点を残していた。それが結果的には伸び悩みとなり80台前後の製造で終わった。

筆者がベンチレスト・ライフル・シューティングを始めたのは1973年のことだった。当時、競技で使われているライフル・アクションはレミントンX P100, 700アクションが大方で、これらカスタム・アクションは歓迎された。もっともカスタム・アクションはオールド・シーレン、ハート、ウィーパーなど1950年代から存在したが、いずれも従来のデザインによるものであった。当時、ストックはほとんどがウォールナット、ストックだけで3~3.5ポンド(1.36~1.6kg)、スコープ/マウント、リングが約1.2ポンド、アクションが2.5ポンド前後(1.135kg)であった。これで総重量10%ポンド(約4.8kg)のスポーター、LVクラス・ライフルを製作するとなるとバレルの重量は4ポンド以下とならざるをえない。

アクションの軽量化はその分バレル重量増加となる。新しいマテリアルによる軽量アクションは市場で注目を浴びた。そしてストールは徐々にシェアを広げたのである。このころシーレンDGAも市場に入り、1978年頃はこれにアラン・ホルルのステンレス・ホール・アクションが加わった。

アクション軽量化の重要性は1980年頃からはさほどいわれなくなってきた。ファイバークラスなどのコンポジット・マテリアル



▲仕上げの良いアクションだ。

の登場でストック自体の重量が2ポンド前後となってきたからだ。例えば筆者が現在使用している特注のシックス・グラファイ/ファイバークラス・ストックはわずか1ポンド(.454kg)しかない。ストック・ブランクの先端、後端を台の上ののせ、ストック中央に筆者の体重72kgをかけても若干しなるだけだ。この20年、大きな進歩をとげたのはストックといっても過言ではない。これはいずれかの機会に詳しくレポートすることにしよう。

1980年、引退を考えたラルフ・ストールは製法のノウハウをオハイオ州ノース・ローレンスのガンズミスでありベンチレスト・シューターとして知られたGeorge Kelby (ジョージ・キルブリー)に譲った。

キルブリーによる、最初のストール・アクションがロールアウトしたのは1981年のことだった。1980年代の中頃、ジョージ・キルブリーは日本製のCNCマシンを導入、ストール・アクションは以後製造工作精度で大きな進歩を遂げた。パンダの重量は845gで同寸法のスチール・アクションより200~300g軽量化されている。

比較的長いボルト・ハンドルによりボルトの操作性はよい。ボルト・ボディには独特のらせん状のフルートが切られている。重量軽減もあるがボルト往復時のフリクションを少なくすることが目的だ。事実、ボルトの往復はスムーズである。シングル・アクションといえど競技中、場合によっては速射が要求されるのでスムーズに越したことはない。

同社は右ボルト・ハンドル/右ローディング・ポートのスタンダード・モデルのほか、右ボルト・ハンドル/左ローディング・ポート、左ボルト・ハンドル/右ローディング・ポート・モデルも製造している。シューター好みの選択が可能となっている。

レシーバー・トップはスコープ・リング・リブがカットされ、これにキルブリー発売の専用スコープ・リングが装着できる。キルブリー・リングはストール・アクション使用者以外にも人気が高く、各種アクション用のスコープ・ベースも発売されている。

レシーバーは航空機用で知られたアルミ・アロイ7075、外面はサンドを吹き付けたショット・ペイント・フィニッシュだ。ボルト・ロッキング・ラグが回転結合するリセス部はクロモリ4140のスチール・インサートがエポキシとともにネジ込まれている。またレシーバー後部のエキストラクティン・カム部にはスチールがインサートされている。

ストール・アクションは1970年代初めから一部エンジニア間で疑問が持たれていた。ヒート・エクspansionがまるで異なる金属の組み合わせだったからである。確かに卓上の計算ではそうなるのだが・・・

既に発売されて25年、これに問題があったとは聞いていない。ただしボルト・ハンドルがボルト・ボディにロウ付けされており、これがもげたということは数回聞いたことがある。使用者が間違っただけで発射、プレッシャーのため、ボルトがオープン出来ずハンマーでハンドルを打った結果だ。これはレミントンでも起こり、ストールだけの問題ではない。ボルト・ボディとボルト・ハンドルが一体化したモデル、サコーなどでは起こらないことだが・・・しかし、常識下における使用であればまったく問題ない。ポジション・シューターのためには注文によりアンシュツ、レッドフィールドのマイクロ・アイアン・サイト装着の小改造もやっている。

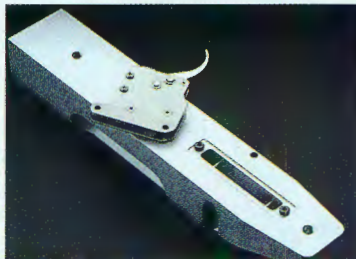
キルブリー社はアクションの製造だけではなく、完成ライフルのメーカーとしても知られている。パレルは注文者の希望でそれぞれのメーカー品がフィッティングされるが、同社まかせとなるとハート・パレルが付く。同社のアクションは工作精度が高く、同モデルであればアクション間におけるボルト、パレルの互換性を持っている。他のカスタム・アクションなどは製造ロットによりムラがあり、こうはいかない。最



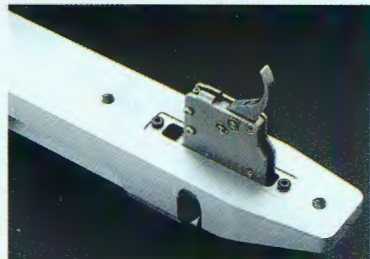
▲ボルトの往復はフルートの関係もありフリクションが少なくスムーズだ。



▲これがストール・アクション使用者以外にも人気のあるストール・スコープ・リングである。



▲レミントン・タイプのトリガーがブラケットで簡単にに取り付けられる。流行のジュール・トリガーを付けたとこんな具合となる。



近のものは良くなったが・・・。

またキルブリー社は出荷するアクションのパレル・フィッティングのトレッド・タイミングを記録しており、アクション・シリアル・ナンバーを言えばそれに合うパレル・フィッティングが可能となっている。アクションまたはライフルをパレル・フィッティングするたびに、同社に送り返す必要がないわけだ。同社のアクションがヨーロッパで人気ある大きな理由の一つとなっている。

同社の話では、少なくとも20以上のキルブリー・アクションが既に日本にも入っているということだ。

さて肝心の価格だが、パングで750ドル、ベンチレスト・ライフルとなるとコンポジット・ストック、パレル・フィッティング、トリガー、ストックのフィニッシュ等がアクションの値段にプラスされ2,100ドルが

スタートとなっている。

30年前のベンチレスト・ライフル競技の勝利は自分で物が作れる一部のガンスミスのものであったが、現在は金さえ出せば世界の一流品が買え、情報も豊富である。いかに最良のコンポネンツ(プレット、スコープ、パウダー、プライマー etc.)を使い、チューンナップするか、これがキーとなっている。しかし、最終的にはコンディションの読みで勝負が決まる。ベンチレスト・ライフル競技というと単に銃の精度のみで順位が決まると誤解している人が多いが、シューティング・レンジはトンネルではなし、米国のレンジはオープン・フィールド、ここにはかならず何らかのコンディションが存在する。

今回は、最近人気が出てきたオクラホマのファーレイ・ステンレス・アクションをレポートしたい。

## ストール・パング・モデルのテクニカル・データ

競技用カスタム・ボルト・アクション

モデル名: STOLLE PANDA (パング・モデル)

製造メーカー: Kelbly Inc. 7222 Dalton Fox Lake Road North  
Lawrence, Ohio 44666 U.S.A. Tel (330)683-4674  
Fax (330)682-7349

口径: マグナムを除いた .222, 6mmPPC, .308用ボルト・フェイス

作動方式: ボルト・アクション、開閉鎖角90度、シングル・アクション

ファイアリング・フォール: 5.6mm

レシーバー・トレッド(インチ): 1.062" 1-18"

全長: 215mm

全高: 44mm

全幅: 38mm

重量: 845g (レシーバー、ボルト、トリガー・アダプターを含む)

マテリアル: レシーバー/スチール・インサート(CM4140)、アルミ・アロイ、ボルト/CM4140

小売価格(米ドル): 750ドル

備考: このほか、ビックボア・パング(マグナム・カートリッジ用)、コディアック(リピーター)などバリエーションがある。アクションのみのデリバリー・タイムは約4か月、完成ライフルは約6か月となっている。

▶ボルト・ボディのフルートは、らせん状となっている。レシーバーの前面を見ればスチールがインサートされているのが分かる。

